



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 224
November
2011

トピックス

人材育成

平成23年度JICA研修
国別研修 中華人民共
和国「総合防災計画」
実施

国際会議への参加

IRDR災害リスク統合
研究会議2011

日中韓三国防災協
力シンポジウム

地球規模課題対応
国際科学技術協力事
業—インドネシアにお
ける地震火山の総合防
災策—

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2011

●人材育成

平成23年度JICA研修 国別研修 中華人民共和国「総合防災計画」実施

アジア防災センター(ADRC)は、国際協力機構(JICA)と協力し、中国の防災行政業務や都市計画策定業務を担当する中央又は地方政府関係者を対象とした研修を2011年10月19日から11月8日まで実施し、19名の研修員が参加しました。

本研修は、日本の防災の知識や経験、蓄積してきた技術を提供するとともに、日本の都市における防災行政の概要を理解し、研修員が所属する機関において、効果的な都市防災計画が策定できるようにすること目的としています。研修員は、中央政府・地方自治体・ライフライン・研究機関・メディアなどから広範囲にわたる講義を受け防災について学びました。また、岩手県を訪問し、東日本大震災で大きな被害を受けた地域の現地調査を行い、被災の現状や復興に向けた取組について関係者から貴重な経験や教訓を学びました。さらに、被災地の復興にとって大きな課題となっている廃棄物処理の問題についても、岩手県の担当者から説明を受けました。

研修後の成果報告では、帰国後は研修員が講師となって知識の普及に努めたい、耐震性の向上の重要性が理解できた、技術だけでなく住民の意識啓発といった観点からも防災に力を入れたいといった意見を頂きました。

中国は広大な国土に多くの人口を有し、地震や水害など様々な自然災害のリスクに直面しています。帰国後、彼らが研修で学んだ知識、技術、手法を様々なプロジェクトに実践し、自国のより良い防災体制を構築していくことが期待されます。さらに、研修期間内に深めた研修員間のネットワークを、国内の防災連携に生かしていくことも極めて重要です。

なお、当研修実施にあたり、訪問等を受入れいただきました各関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●国際会議への参加

IRDR災害リスク統合研究会議2011

ADRCは、2011年10月31日から11月2日まで中国、北京で開催されたIRDR災害リスク統合研究会議2011に参加しました。この中国での会議はIRDRと中国科学技術協会の主催により実現したもので、40以上の国・地域から300人に上る自然科学・社会科学の研究者、国・自治体などの政策立案者、政治家などの関係者が集いました。IRDR災害リスク統合研究はICSU国際科学会議、ISSC国際社会科学会議、UNIDSR国連国際防災戦略が共催により設置されたネットワークで、自然災害が社会へ与える影響を

続き

軽減するために、様々な専門的学問領域の研究成果を統合活用し政策立案のプロセスや機能の向上を図ることを目標にしています。

IRDR会議は、3日間の議論を通じ関係者間で合意された、統合研究、協働、グローバルスタンダード、教育、啓発、資金調達等の重要テーマ盛り込んだ2011年北京宣言を発表して終了しました。

日中韓三カ国防災協力シンポジウム

2011年10月27-28日、北京の中国国際問題研究所で日中韓三カ国防災協力シンポジウムが開催されました。これは10月28日に同じく北京で開催された日中韓三カ国防災閣僚会合のサイドイベントとして実施されたものです。

日中韓から約30名の専門家が集まり、三カ国のこれまでの防災協力や今後の協力可能性について活発な議論がなされました。

シンポジウムは以下の4セッションから構成されました。

- 1) 日中韓各自の国内防災システム
- 2) 三国防災協力の現状と展望
- 3) 原発の安全性と三国間協力
- 4) 三国防災協力におけるマスコミの役割

ADRCからは荒木田主任研究員が参加し、第二セッションでこれまでの国際防災協力の歴史、過去の三国間の防災協力、ADRCのアジア地域における防災協力、緊急援助における現状の課題、そしてより効果的な防災協力の可能性について言及しました。

地球規模課題対応国際科学技術協力事業 –インドネシアにおける地震火山の総合防災策–

ADRCは2009年から「地球規模課題対応国際科学技術協力事業 –インドネシアにおける地震火山の総合防災策–」の実施機関のひとつとして、プロジェクトに参加してきました。このプロジェクトにおいては、日本及びインドネシア両国の大学や研究機関が、防災や自然災害に関わる調査研究をおこない、ADRCは防災教育と行政との連携を担当してきました。

2011年10月27日から29日にかけて、インドネシアのジャカルタにおいて最終報告会が開催されました。最終報告会においては、各研究グループからそれぞれの調査概要や結果が報告されました。また、ADRCからは防災教育事業の今後の課題や成果物について、さらに、インドネシア側の政府及び防災関連機関と構築された連携体制について発表を行いました。

今回のプロジェクトの結果を生かし、ADRCは引き続きインドネシアにおいて防災活動支援を続けていきたいと思えます。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。